

あなたの命をつなぐ最前線



救急車の適正利用をお願いします

本当に救急車が必要ですか。緊急でない人がむやみに救急車を要請すると、病
気やけがなどで緊急に医療機関に搬送しなければならぬ本当に必要な人の
所へ、遠くの消防署から出動することになります。9月9日(水)は、救急の日です。
救急車の適正利用について考えましょう。

問 047-336-2111(音声ガイダンス) 2番 消防局救急課

活躍する救急隊員



北消防署 救急隊長
消防司令補
茨木 幸人

今年の4月から指導救命士になりました。救急救命士の再教育など、指導する立場です。目標とした先輩救命士のように、今度は自分が目標とされる救急救命士になりたいと思っています。心掛けているのは「笑顔で終われる救急」ということ。命を預かる現場だからこそ、みなさんの不安を取り除き、悔いのない活動ができる隊員を増やしていきます。



消防局救急課
消防司令
井橋 邦彦

救急救命士としての現場を離れ、救急隊のサポートやAEDを使った心肺蘇生法などの救命講習、より良い地域医療のための仕事をしながら、音楽隊の副隊長も兼務しています。この経験を生かしてさまざまな側面から救命につなげたい。その思いで行っている救命講習に、多くの方々に参加して欲しいです。一人でも多くの救える命をつなぎましょう。



西消防署大洲出張所 救急隊長
消防司令補
佐竹 明子

救急救命士として活動する傍ら音楽隊員としてトロンボーンを担当しています。救命士としてはまだまだ未熟な私ですので、日ごろの勉強は怠りません。目指すのは最善の活動で、音楽を通しての広報活動も、救命士としての救急活動も、女性らしい感性を生かしてこれからもみなさんの安心のために頑張ります。



東消防署
消防士長
斉藤 貴志

災害現場で活動する高度救助隊と救急隊を兼務しています。両隊が共通の認識を持って活動できるように救急救命士の私が架け橋となり、救急隊が入っていない災害現場では救急救命士としての目で活動し、多くの命を救うことが目標です。救助を必要とする人や家族の心を察し、思いやりのある活動を心掛けています。



南消防署
消防士
三田 真稔

救急隊員となって4年目。先輩救急救命士と活動することで救急業務の重みを改めて感じ訓練を繰り返しています。「救急救命士になりたい」「自分の持てる能力を最大限、みなさんのために役立てたい」という決意で現在勉強中です。ひとりでも多くの命を救うために、頼られる救命士を目指しています。

9月5日(日)開催 救急広場 午後1時~3時30分 場ニッケコルトンプラザ(鬼高1-1-1)



今週号の紙面から

- 特集 ● 子どもの受診の入り口 …… 4-5面
- 特集 ● 1%支援制度の届け出結果 …… 8-9面

- 市民ワークショップの参加者を募集 …… 2面
- 国勢調査オンライン調査を実施 …… 2面
- 市道のネーミングライツ・パートナー募集 …… 3面

- 生きている虫が図書館にやってくる …… 6面
- 市民体育大会を開催 …… 7面
- いちかわ市場まつり2015 …… 10面